



< 目次 > 新年号

1	新年のご挨拶	西尾張ブロック代表	伊藤善之
2	大地震に備えて 犬山市総合防災訓練	犬山支部	高木 優
3	こうなん市民まつりでの防災啓発	江南支部	尾関 博
4	HUG (避難所運営ゲーム) 講習会	春日支部	有村和人
5	私の啓蒙活動	稲沢支部	酒井律治
6	自主防災会研修会 DIG講習に参加して	北名古屋支部	山崎澄男
	自主防災会研修会のDIGについて	"	小川時子
7	いざと言うときのために 救急講習会	一宮支部	河村文雄
8	お知らせ・掲示板		

1 新年のご挨拶

西尾張ブロック代表 伊藤善之



新年あけましておめでとうございます

昨年は伊勢湾台風より50年が経過して、各地で追悼を含めて記念行事が行われました。10月には台風18号が伊勢湾台風と似たようなコースをたどり、大変不安な一夜を過ごしました。地震では8月に駿河湾で最大震度6弱の地震が起こり、「すわ！東海地震か」と思わせたものでした。風水害では九州・中国・近畿などで繰り返し災害が発生しました。海外でも地震・風水害ともに数多くの災害が起こっております。

昨年からブロック活動の一つとして、支部の活動をブロックが支援することが始まり、一部の支部の活動を観させていただきましたが、自主防災会が主導で市総合防災訓練を実施されるなど大変新しい試みをされておられることに感心しました。皆様方でも各地で防災・減災活動や学校活動、研修会などでご活躍のことと心より感謝申し上げます。

そのような中で、自主防災会のより活性化、災害要援護者支援、家具転倒防止支援、避難所運営支援など取り組むべき課題が多くあり、皆様方の更なるご活躍をお願いする次第で



す。

最後に、平成22年4月には「特定非営利活動法人あいち防災リーダー育成支援ネット」が認可される予定であり、APLAの幹をもう一本増やして我々の新しい仲間づくりや各防災団体との協力支援を深めていく所存です。皆様方の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

常滑市立鬼崎北小学校近藤ひろ子教頭は、自分たちの防災は「**自分の命も他の人の命も大切に作る心、支え合い助け合って生きていく心**」を広げていく活動であると言われていました。この言葉をよくかみしめましょう。

2 大地震に備えて 犬山市総合防災訓練 犬山支部 高木 優

本年は初めての試みで、訓練会場を3会場として実施した。
主会場は犬山市勤労青少年ホーム前庭と犬山市体育センター、
あとの2会場は、青塚古墳会場と西楽田団地集会場。
訓練には会場に隣接した地区の住民ほか総勢700人が参加した。

【被害想定と訓練内容】

平成21年11月1日午前9時00分

岐阜県東濃地方を震源としたマグニチュード7.2の直下型地震が発生した。

犬山市は震度6弱～震度7を観測、市内各所で家屋の倒壊や火災が発生し、多数の負傷者が発生している模様だ。さらに電気、ガス、上下水道、情報通信などのライフラインに大きな被害が生じている。

この想定に基づいて、各町内会は町内の指定の集合場所に集会し、安否確認のあと指定の避難場所となっている3ヶ所の訓練会場へ避難する。

主会場と青塚会場では、消防主導の初期消火、救命救助、仮設トイレ組み立て、給水、応急タンカ作成、負傷者搬送訓練などを避難住民参加で実施をする。

「あいち防災リーダー会犬山」は、防災啓発活動として避難住民に対して、防災知識向上のためのパンフレット配布、非常持ち出し品や備蓄品の展示と説明をする。建築物の「耐震診断・耐震改修」、「家具の転倒防止策」についても鋭意啓発活動を実施する。3回目の訓練参加であるためか、参加者の防災グッズ（非常持ち出し品・備蓄品）に対する関心が非常に高まっている。また手にとってみて、特に女性用・子供用の圧縮下着など、どこで手に入るのかといった質問も多く寄せられた。

情報伝達訓練は、犬山市アマチュア無線防災ボランティアサークルにより、テレビ中継を交えて現地対策本部へ刻々と青塚会場からの情報を伝達する。

西楽田団地集会所では、安否確認、図上訓練、情報伝達訓練、物資配布訓練の4訓練と



なっている。主訓練を行政は図上訓練としていたが、自主防災会の思い違いもあって机上での訓練を想定した会場設営がされていたため、本来の机上訓練がどのようなものか説明し、理解していただいた上で西楽田団地自主防災会で用意された「机上訓練」を実施する。これは、6月に自主防災会の活性化活動として防災訓練を実施したときの未訓練部分を、今回の犬山市の総合防災訓練のなかに取り入れて実施したものである。

訓練内容について色々と指摘したい部分はあるものの、“自分達で考え、参加の役員全員が内容をよく理解”して訓練していた。毎年交代の町内会役員のあて職である自主防災会役員であることを考えれば、企画力・組織力・実行力など優れていると評価したい。これが、我々リーダー会が各町内の自主防災組織の活性化活動をする主目的である「自主自立」であると思う。

3会場での訓練のため、「あいち防災リーダー会犬山」の会員だけでは大変だと思ったが、伊藤善之（西尾張ブロック長）、森 千代子（岩倉）、杉浦 緑（北名古屋）、江南支部からは望月晴夫代表、伊神幸代、今井節子の計6名が応援に駆けつけてくれた。そして犬山支部からは、長谷川三千男代表、三輪征子副代表、飯田榮子、河村治生会計、尾関 博相談役、藤田秀勝、高木 優事務局の7人の参加を得て、無事に終了することができたのも皆さんのご協力の賜物と感謝している。

【青塚古墳会場】

防災啓発コーナー（訓練開始前）

- * 「防災・減災お役立ちガイド」
風水害編・地震編
- * 「誰でもできるわが家の耐震診断」
- * 「緊急地震速報」
- * 「東海地震予知情報」
- * 「非常持出品、備蓄品」の展示



【西楽田団地訓練会場】



正面は西楽田団地地区災害対策本部席
左側は各町内の役員席

各町内の役員は被害想定により、
被害状況を救護・救援要請班に報告



救護・救援要請班

各町内からの被害状況の報告を受けて、壁面の各町内の欄に記入し、併せて救護・救援が必要な時は、速やかに然るべき部署や機関に出動要請をする。



救護・救援要請班に報告のあった被害状況は、中央部にある西楽田地区図に落とし込む。

<あいち防災リーダー会からのアドバイス>

- ・地図表現をもう少し工夫する。
- ・時系列で推移が識別できるように、地図上に透明カバーを重ねて記入していく。
- ・何が何人と具体数を表す。



犬山市災害対策本部長の犬山市長が西楽田団地訓練場を巡回し報告を受けた。

同行者は、犬山警察署長、犬山消防長、犬山市防災監。

3 こうなん市民まつりでの防災啓発

江南支部 尾関 博

平成15年から今年で7回目、「あいち防災リーダー会こうなん」を立ち上げたときから一大イベントと位置づけて、毎年「こうなん市民まつり」で防災啓発活動を行ってきました。自分達に何ができるのか、どんなことをすれば市民に受け入れられ、関心を持ってもらえるのかを考え、また、毎年同じ内容の啓発活動では自分達のテントには足を向けてもらえないのではないかと思い、前年好評だったものは今年も継続し、さらに新しい出し物をと考えながら続けてきました。

今年は、西尾張ブロックの支援対象事業の一環として認められたので、他の市町のリーダー会の皆さんも参加してくれることを期待しながら、10月3～4日にすいとぴあ江南で開催された、こうなん市民まつりに臨み啓発活動を開始しました。

出し物は、NTT西日本による高度利用者向け緊急地震速報のPR、倉衛工業による災害時の簡易トイレの展示PR、非常持ち出し品や備蓄品の展示、家具転倒防止の一例の展示、ストローハウス教室、防災ナマズンの塗り絵、科学のおもちゃ『エッキー』（液状化）、ヨーヨーつり、各種防災啓発リーフレットの配布などを行いました。



当日はまずまずの天気でも多く、全体では2日間で3～4万人の入場者数がありました。私達のテントにも多くの人に来てくれ、大変盛況で予定の数が出てしまい、予定時間より早く終了しなければならないくらいでした。

あいち防災リーダー会西尾張ブロックからは、代表の伊藤さん、犬山支部の愿さん・高木さん・藤田さん、扶桑支部の上原さん・川村さんが参加してくれ、ストローハウス教室などの手伝いをしてくれました。来年もこうなん市民祭りには啓発活動を行う予定です。今回参加できなかった方も是非来てください。お待ちしております。

4 HUG（避難所運営ゲーム）に参加して 春日支部 有村和人

<はじめに>

平成21年12月12日（土）北名古屋市総合福祉センターもえの丘ふれあい広場において『避難所運営ゲーム（HUG）』研修が、あいち防災リーダー会西尾張ブロックの企画で開催され参加しましたので報告します。

当日は晴天で午前9時10分に集合。9時半から12時までの2時間半、総勢35名が各6～7名の5班に分かれ、M8の震災後に避難所へ集まる住民の対応を、われわれ参加者が地区自治会長であるとの設定で研修を行いました。

避難所HUGは、静岡県が開発した避難所（H）・運営（U）・ゲーム（G）のことです。最近この研修が各地で活発に行われています。西尾張ブロックでは初めてですが、本部で2回実施されています。私は本部で1回、今回が2回目の研修参加となります。

<運営の様子>

出だし、各人が用意されたガムテープに名前を記して左胸に貼りました。これは班（避難所）ごとに色分けされており、わが班は白色でした。参加者の中にはなじみの方もおり、アイスブレイキング・自己紹介を行い、和やかな雰囲気と笑いの中で始まりました。

われわれの避難所では、校庭に集まっていた避難者の受け入れを始める前に（1）家族単位、（2）地区単位、（3）その他の事情を考慮するなどの受け入れ方針を決めました。

(まずは説明をしっかりと聞いて)



<問題点>

避難してきた住民の受け入れが進むにつれ、判断に迷う問題点が発生しました。

犬や猫・小鳥などのペットを持ち込む避難者が出てきたり、妊婦さんや怪我をした人、障害者等々、どの場所や区域に落ち着いてもらうか意見が分かれたりして、「とりあえずこの場所に行ってもらおうか」の連発になりました。現実でこのような扱いをした場合、あとに不安を残すだろうと思いました。

<意見交換>

研修も大詰めになり受け入れも手際よくなりましたが、予定の避難者まであと30名ほどのところで時間切れになりました。

各班(避難所)の受け入れで問題となったことを1つずつ発表し、他の避難所ではどのような方法や判断で行ったかなどの意見交換をしました。そして各避難所の配置図を見て回りました。

Q. どのような方針で避難者家族を振り分けたか?

Q. 外国人の受け入れ問題は?

Q. 動物を連れてきた人をどうしたか? など

各避難所でもわれわれの避難所と同じような問題を抱えて悩んだことが分かりました。



(被災者の立場を考えて・・・)



(う～ん、どうしたらいいかしら)



< 今後の課題 >

模擬避難所運営は実質90分ほどで120件程度の事案を処理する研修でしたが、われわれの避難所は90件程度しか受け入れることができませんでした。

今回はあくまでもゲームでしたが、現実には緊迫した状況であろうし、われわれの避難所のようなチンタラした受け入れ態勢では、非難の罵声が飛んでくる騒然とした場内になるであろうと想像したり、また避難所がパニック状態になったかもしれません。

この研修のなかでも重要と感じた最後の「意見交換」が15分ほどしかなく、各班の持ち時間が3分程度だったのが残念でした。それぞれ自分とは異なる判断をされる方の思いを聴ける貴重な機会だったと感じたからです。この時間に余裕を持たせることも大事だと思いました。

< おわりに >

自分の住む地域の避難所で被災を想定したHUG研修を地域の方と実施し、問題解決手法に慣れることが、地元避難所の初期受け入れや運営がスムーズにできるようになるのではないかと、この研修を終えて感じました。そして、研修の回数を重ねることも大切だと思いました。このような研修を企画していただいた研修幹事さんに感謝いたします。

5 私の啓蒙活動

稲沢支部 酒井律治



私は、あいち防災リーダー・稲沢市防災ボランティアコーディネーターの資格で、「防災・ボランティア稲沢」の一員として同志と共に活動している。

さらには、県認定の防犯・交通安全のボランティア「レインボー」の資格で、老人会・老人ホーム・子ども会・児童館・保育園などに呼ばれ、マジック・紙芝居・寸劇・バルーン風船などを通じて、防災、防犯交通安全の啓蒙活動を展開している。

活動範囲は、稲沢市、一宮市、愛西市などであり、ゲストの世代に合わせて工夫を凝ら



した内容としている。

最近では11月19日に稲沢市法立保育園で、79人の園児を前にして妻をマジックの助手にして、「火遊びをしないこと」を中心に訴えた。ゲストが6歳以下のため苦心がついて回った。

ときには寸劇で「あぶない人から身を守る方法」を、妻がひねた子ども、私があぶない人に扮して演じたりもする。

園児にはバルーン風船の剣のお土産に加え、「防災・防犯対策のしおり」を保護者に見てもらうように渡している。このしおりの内容は、地震対策では事前の備えと家具の固定、交通安全ではシートベルト着用などであり、先生方にも当然お渡ししている。

今後とも、声がかかればどこへでも出かけて活動を続けていきたいと思っている。

6 自主防災会研修会 DIG講習に参加して 北名古屋支部 山崎 澄男

今回で2回目となる北名古屋市主催による自主防災会研修会が、12月2日(水)文化勤労会館 1階会議室で開催されました。

昨年と同じように、あいち防災リーダー会の早川会長をお招きして行いました。講師、コーディネーター、ファシリテーターが計11名参加し、午後1時半から4時までの2時間30分のコースです。

自主防災会からは各地区1~3名で計42名の参加があり、7名ずつの6班にグループ分けをしました。今回あいち防災リーダー養成塾を受けたのが6名、うち1人は病気で欠席となりましたが5名が終了したので、これを活かして今回の講習に入れました。

昨年は地区単位で行いましたので、椅子に座ったままで動こうともしない人がいましたが、今回は各地区バラバラの構成のため、全員参加で座っている人はいませんでした。地図を見ても、色別・シール別が地図の全体に配置されていたし、各班のリーダー・書記・発表者もよく機能していました。また、ファシリテーターの方もよく気配りしていました。

最初タイムスケジュールが早いかと思いましたが、発表時間に少し多くかかったことを調整して、ちょうどよい時間となりました。

最後に早川会長より講評をしていただきました。昨年よりもよくなっているとよい評価をいただくことができました。すべてが終了し、早川会長を囲んでお礼など話しているときに、各班の発表後に私達の決意表明・スローガンがなかったことを指摘され、ハッとしました。気づくのが遅かったことを踏まえ、今後は頑張っていきたいと思いました。早川会長及びボランティアの皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

また、今回の講習会のなかで、自主防災会もボランティアの人との交流が必要ではないかとのことが一番嬉しく感じました。と、同時になかに入っていきたいと思いました。



自主防災研修会のD I Gについて 北名古屋支部 小川 時子

去年に続いて2回目の開催なので、改善したことを記録して次回に備えたいと思う。1班7名の6班で42名の参加者に対し、ファシリテーター-7名、コーディネーター1名、サブ2名で実施した。

参加者の高齢化を考え、シールやポストイットは大き目のものを使用し、自宅の目印は場所をとらないように立ててもらい、地図は2町が合併しているので各班とも両方に入ってもらい地図に書き込みやすいようにした。細書きのマジックは全員に渡し、シールの種類は減らして足りなくて必要なものは書き込んでもらった。それが今回は全員参加の様子が見られて良かったとの感想だった。

地理的な特徴や経済的特徴はすぐに書きやすいが、要援護者については男性の受講者が多く、ご近所の様子などについては詳しくないからと言っていた。それといつも言われることは、知っていてもプライバシーに触れるからとの声もあった。防災研修は秘密保持、この場だけですからと説明はしたけれど、北名古屋市は8万1千人の人口に対し8千人に近い要援護者数である。講評をお願いしたあいち防災リーダー会の早川会長からも、これは民生委員さんとの連携の必要性もあるとご指導いただいた。いつも人を知ると言う部分は難しい。

参加者は自主防災の方々なので特に被害予想をしてもらい、その対策をしっかりと考えて、減災につなげていくのに時間を使いたいと思っていた。2時間半のD I Gは時間が余ってしまうのではと思われたが、最後は発表の時間の1グループ4分が足りないくらいだった。

反省点はいろいろあるが、回数を重ねてそれぞれの役割の人がのびのびと出来るように、コーディネーターとして成長していかねばと思っている。初めてピンマイクを持ったのでたびたびハウリングさせてしまい不愉快な思いをさせたことなど。

今回もたくさんの災害の写真や家具転倒防止の様子などを紹介していただき、早川会長には大変お世話になった。



7 いちのみや支部 ~いざと言うときに備え 救急講習会~

いちのみや支部 事務局 河村文雄

平成21年11月7日(土)午前9時より一宮市消防本部において、今年度第2回の支部例会を会員15名の参加で行いました。例会に引き続き、10時10分から正午まで、一宮防災ボランティアネットワークとの共催で、一宮市消防本部の佐野救命救急士・大野係長・高木さんを講師として救急講習会を行いました。

1、<止血法>

最初にペットボトルに入れた水400mlを床に撒き、その広がりを見ます。「血を見ると、誰もが大抵はあわててしまう。血の海と言っても、今回の水の量は400ml。これを400mlの献血と同量だと思えば、生命に支障はないはず。」つまり止血法で大切なのは、慌てず、出血量を知り、すばやく冷静に対応することが何よりも大事だということです。

止血の方法は、出血部位を直接圧迫して止血する、直接圧迫止血法が基本です。タオル地は血が止まらないのでガゼや三角巾を使用し、感染予防のため血液に直接触れないように留意します。

2、<搬送法>

棒と毛布を利用した担架づくりを実習しました。大切なことは傷病者の頭部を重視することで、顔色を見ながらやさしく話しかけ、傷病者を安心させ落ち着かせて安全に搬送します。

また毛布だけでも、傷病者を包んで二人で引きずって搬送できることや、4人いれば毛布の端を丸めることで担架ができることを実習しました。



3、<骨折固定>

動くと痛いので上下の関節で固定するようにします。新聞紙やサランラップなども、そえ木や包帯の代用として活用できます。



4、< 異物除去 >

肩甲骨の間を、異物が出るまで叩いて除去します。

実技を伴う救急講習会は、できる限り頻繁に受け「身体で覚えている」ことを確認しておく、いざと言うときに落ち着いて行動できることを再確認しました。

また、いつもベストな手段や道具が揃っているわけではないので、身近にあるものを何でも活用し、その場でできるベターなやり方を考えることができるよう、常にトレーニングすることの大切さを学ぶことができました。

7 お知らせ・掲示板

愛知・名古屋 防災&ボランティアフォーラム2010

日 時:平成22年1月16日(土) 午前10時～午後4時

会 場:アスナル金山、金山総合駅連絡橋「イベント広場」

どなたでも参加自由です。各主催団体による催しや展示があります。

名古屋大学防災アカデミー

第56回 21年1月20日(水) 18:00～19:30

磯部 康子 (神戸新聞社)

「伝え手から見た阪神淡路大震災15年 神戸はどう変わったか」

第57回 21年2月4日(木) 18:00～19:30

田中 重義 (名古屋大学大学院環境学研究科教授)

「災害は短く、その恵は長い」:災害観再考

会場は名古屋大学環境総合館レクチャーホール

どなたでも参加は自由です。

あいち防災セミナー 第3回 日進市

日 時:平成22年1月23日(土) 13:30～16:00

会 場:日進市民会館 大ホール

参加申し込みは1月15日(金)までに

日進市総務部総務課防災室 0561-73-3279へ



2009ボランティアのつどい

日 時：平成22年2月6日(土) 9:40~12:40

会 場：犬山市福祉会館5階大ホール

記念講演 「私の見たボランティア・市民活動」

大石邦彦氏 CBCニュースキャスター

活動発表 「災害弱者に対する支援活動」

清水やすこ氏 静岡県災害救援ネットワーク

主催・犬山市ボランティア連絡協議会

どなたでも自由に参加できます。

北なごや防災ボランティア主催「防災講座」

地震による家具の転倒を防ぐには

日 時：平成22年2月27日(土) 13:30~15:30

場 所：もえの丘 2階会議室

講 師：あいち防災リーダー会 早川澄男会長

申込先：小川時子 電話0568-22-0995

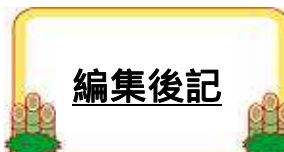
西尾張ブロックの総会日 決まる！

日 時：平成22年3月14日(日)午後開催の予定

詳細は追ってご案内します。

今から日程の調整をお願いします。

8



編集後記

お元気で新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
あいち防災リーダー会では、会員の皆様のスキルアップの
ために、講習会や研修会などたくさんの行事を行っています。
積極的にご参加いただき、これからの活動に活かしていただきたいと思います。

このAPLA通信では、これからも会員の皆様のご意見や感想などをたくさんお
届けしたいと考えています。ご投稿を心よりお待ちしております。 広報部 森